

## 各グループの意見交換の内容



### 1グループ

**目標:適切な医療をうけることができる**

**スローガン:「かかりつけ」をもちましょう!**

#### 【相談】

- 家族以外の人に相談できるようにする。
- わからない事の相談、専門のところに質問。
- 病院へ行くまでに、医療相談が受けられるところがある。
- 相談窓口の充実。
- 近くに相談できるところがある。
- 気楽に相談できる。

#### 【地域との繋がり】

- まわりの人との繋がり。
- 異変に気づいてもらえる人を作る。(地域見守りなど)

#### 【セルフケア(健康を保つ)】

- 薬になるべく頼らないようにする。
- 健康によいことを人に伝える。
- 健康でいられるように生活する。
- かかりつけをもつことの大切さを周知する。

#### 【「かかりつけ」をもつ】

- 通うための「足」がある。(公共、お互いさん)
- 身近なところがかかりつけをもつ。
- 家族ぐるみで医院・歯科医にかかる。
- 訪問してくれる先生(医・歯科・薬局)を探す。
- 紹介されたびょういんから、お薬をもらうときも、決めた薬局からもらう。

#### 【医療機関の配置】

- 医・歯科・薬局の歩いて行けるような、適切な配置

#### 【医療と介護の密な連携】

#### 【専門的なサービスを受ける】

- 薬の形状(粉・錠剤など)その人に応じて



### 2グループ

**目標:10年先20年先この地域で安心して暮らすために**

**スローガン:健康で地域活動に参加しよう!!**

#### ①地域として

#### 【お店⇄各種サービス】

- 近くにストアが欲しい(かつては今川に長浜ストアがあった)
- 食事サービスが充実
- 助け合える、声がかかけ合える

#### 【地域づくり】

- 誰もが集える場所、施設
- 子供たちが地域にいるのを楽しめるように
- 普段から人との交流があるとよい
- 若者がたくさん住んでいる
- 多くの人が参加するイベントがある



## 【医療】

- 医療機関が広い範囲に広がっている
- 医療機関の充実。(診療所、薬局、歯科医院など)

## 【公共交通】

- 通院が不自由なくできるという
- 高齢になったらマイカーに乗れない、公共交通がほしい
- 交通手段、公共交通機関の充実
- 高齢者の自動車事故が増えているので、個人ではなく全体がいつでも利用できる交通手段が欲しい

## ②個人として

## 【地域活動】

- 地域でのイベントに積極的に参加する
- グランドゴルフ 町内、地区のクラブに参加している
- 毎月一回公民館で開催されるそば打ちサークルに入っている
- 地域でのイベントに積極的に参加する(2)

## 【ボランティア活動】

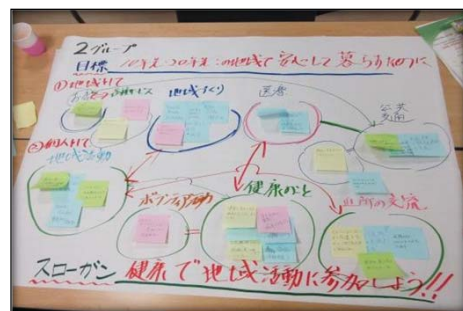
- 地域のボランティア活動に参加する

## 【健康のこと】

- 健康に気を付けて、病気にならないようにする
- 歩くことを心がける
- 体力づくりをして、足腰が悪くならないようにしたい、維持したい。
- まず自分の健康。そして、できる事を手伝う。
- 病気にならない健康づくり
- 健診を受ける(早期発見)
- 体操教室への参加
- 人に頼らなくても、自分のことは自分でする

## 【近所の交流】

- 隣近所との交流をする
- 近隣の方とコミュニケーションをとりあう
- 町内の老人会に加入している
- 寂しくならないように友達を作ったり、地域の中で孤立しない



## 3グループ

**目標: 地域の誰もが(老若男女)集える場がある**

**スローガン: みんな仲良く郷里っこ広場**

## 【声をかける】

- いろいろな人に声をかける
- 声をかけてくれる人がいる
- 体の不自由な人にも声をかける
- 呼んでもらえるような関係性を作る
- 近所の異年齢と声をかけ合える仲になる
- 声のかけ方が難しい

## 【お互いを知る】

- 何でも話し合える
- 異年齢の興味を知る(自分の世代以外の)



### 【みんなが楽しめる】

- サロンの開催
- 個々に合わせたイベント(運動・趣味・活動・料理など)
- 食事会は必要(現在でも食事がある時は参加率が上がる)
- 働き盛りの人でも参加できる行事の開催
- サロンのイメージを変える
- 興味のあるイベントがある
- 高齢者と子供会と一緒に活動
- コミュニケーション麻雀
- 趣味を活かせる物(場)を作る
- いろんな人に来てもらえる行事
- 世代を分断しないツール



### 【気楽な場】

- 気楽に行ける公民館
- いつでも開いている公民館
- 公民館にやさしい職員がいる

### 【情報発信】

- 集まり(活動)の場を知る
- 地域活動の種類(どんなものがあるのか)を知る



## 4グループ

**目標:その人の生活スタイルに合った薬剤管理ができればいいな**

**スローガン:気軽に相談できるかかりつけ薬局をもとう**

### 【情報共有】

- 生活スタイルを知ってもらう
- お薬用の専用靴を作ってもらう
- 情報

### 【周知】

- 薬剤師をどんどん利用してもらう
- 出前講座の開催
- お薬手帳の有効利用

### 【専門職の介入】

- 専門職の介入
- 飲み忘れていることを先生に言える関係作り
- 高齢者の場合は、横に座り服薬の確認をすることで飲み残しがなくなると思う

### 【お薬相談(飲み方の工夫)】

- かかりつけ薬局で病の管理
- 生活を基に服薬相談できる薬局
- シールの活用
- 服用回数、剤型 一包化など
- 薬の袋に何の薬かを記入する
- 一日一回の場合は朝に
- 薬の疑問を身近で相談できる
- 薬局のアドバイス(一包化)
- 薬箱を用意して(日付、曜日、朝昼夕)と明記して飲み残しがなくなるか確認

### 【かかりつけ薬局をもとう】

- 医療にかかる前に「セルフメディケーション」早い段階からの関わり
- 訪問指導

